



読書を通して
心が動いた思いを
自分の言葉で伝える

読書感想文

読むこと、書くこと、自分を知ること。

読書感想文のポイントとヒント

第71回 青少年読書感想文全国コンクール



- ①「よい感想文を読む」 ②「よい本を読む」 ③「読み手に伝えたいことは何か」

(1) 読書感想文を書く手順 佐賀県上峰町立上峰中学校 吉岡 晃子 先生 より

- 手順1 学校図書館で本を選ぶ 手順2 本を読む
手順3 項目ごとに分けて書く 次の★をそれぞれ別の原稿用紙に書いてみよう。
- ★ 初めて知ったこと、意外だったことを書く。
 - ★ 自分の体験と本の内容を結びつけたり、比べたりして書く。
 - ★ その本を読んで気付いた自分の気持ちや気持ちの変化を書く。
 - ★ その本の主題を考えて書く。



手順4 文の構成を決める 手順3で書いた原稿用紙を、順番を変えながら並べてみる。
書き出しはどれをもってきてもよいが「主題」を最初に置くと勢いが出る。
最初に「主題」を置くと、最後にもう一度繰り返して強調することもできる。

(2) 感想文は「心の成長の記録」です！ 兵庫県豊岡市立神美小学校 校長 齋藤 恭子 先生 より

- 1 まず、紙と鉛筆を用意して、本の表紙をじっくり見ましょう。そして、感じたこと、発見したことをメモします。つぎに裏表紙も見ましょう。ここでも何か感じたらメモします。
- 2 それから本を開きましょう。もう一度ゆっくり読み返しながら、心に浮かんだことをとどどん用紙に書きます。「へえ、そうなんだ」「どうして？」「困ったね」「自分ならどうする」・・・。
- 3 書き上げたメモを分類（疑問、感動、発見、想像、反省、期待・・・）し、書きたいことを中心（この感想文のテーマとなる）を決めます。
- 4 テーマを核にして、文章の構成を考えます。
- 5 下書きを音読しながら推敲（もっと適切な言葉・表現はないか、文末表現はどうか、接続詞は適切か・・・）し、前書きと後書きを考えます。
- 6 募集規定（字数、書き方など）に合わせて点検し、清書します。

(3) 読書感想文 楽しんで攻略 宮川俊彦氏 朝日新聞 H24年7月28日「子供の本棚」より

感想文に決まりはない。ただ、文章にはいろいろな工夫ができる。僕は30年くらい前から「な・た・も・だ」を使ってみようと言ってきた。「なぜなら」「たとえば」「もしも」「だから」の順に文章を書いて、最後に自分の意見をはっきりと記す。これは、あくまでも書き始めるためのヒントだ。たとえば、

- ・物語の主人公を、自分に置きかえてみる。自分を客観的に捉えると、表現方法が豊かになる。
- ・感想文に適している本は、繰り返して読み返した本だ。
- ・読んで面白くなくても、「何だこれ」と疑問が浮かんだ本の方が書きやすいことだってある。
- ・親は指導ではなく鑑賞者になろう。私はこう思ったと、子どもが分析するのを手伝ってほしい。

(4) 書き出しや題名の工夫 本校 学校図書館スーパーバイザー 藤田 利江 氏 より

感想文は、本の紹介文ではありません。

※ あらすじを書く必要はありません。

書き出しを工夫すると読み手を引きつけます。

題名が感動を伝えます。効果的な題名を!!



【書き出し】

- ア) その本を選んだ理由から書く。
- イ) 身近な人の会話から書く。
- ウ) 一番心に残ったことから書く。

【題名】

- ア) 一番言いたいことを短くまとめる。
- イ) 心に残った言葉で表す。
- ウ) 言いたいことのキーワードを見つける。